

～特に注力したい具体的施策～

☆子どもたちを育む

- ◎地域で安心して出産が出来る環境整備（産前産後ケアの充実含む）
- ◎子育て応援事業の充実（子育て施設利用助成）。
- ◎子ども若者第三の居場所づくり（ユースプレイス）。
- ◎中学校給食の早期実現。
- ◎放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携推進
- ◎小中一貫教育とコミュニティスクールの一体的な取り組み推進

☆地域医療を守る

- ◎市立病院における看護師確保と病床回復を早期実現
- ◎名張市立病院と伊賀市立上野総合病院との連携強化
- ◎小児救急医療センターの堅持。

☆地域福祉を充実させる

- ◎保健事業と介護予防の一体的な実施
- ◎地域福祉教育総合支援ネットワークの充実
- ◎リンクワーカーの養成、社会的処方・文化的処方の推進（まちの保健室・まちの図工室）
- ◎福祉・介護の人材確保
- ◎健康マイレージの新たな取り組み（ウェルネスツーリズム）

☆都市機能を充実させ賑わいをつくる

- ◎公共交通やコミバス、福祉の移動支援まで含めた移動ネットワークの再構築（公共ライドシェアの拡大）
- ◎かわまち、まちなかの整備促進とやなせ宿の新たな活用
- ◎ニーズ調査の結果を活用した効果的な空き家対策
- ◎国道県道の整備促進（R368号、R165号中和津道路、上笠間八幡名張線ほか）
- ◎桔梗が丘駅前周辺の活性化
- ◎公園等の管理も含めたあり方検討

☆地域産業を支える

- ◎観光DMOの設立、バリアフリーツアーの推進
- ◎外部人材を活用したWebによる観光戦略
- ◎中小企業・小規模企業者支援連携協定を活用した創業や事業承継の支援
- ◎商工業振興条例の制定と企業立地への支援策強化
- ◎企業の人材確保と若者の地元就職をつなげる交流イベント
- ◎有機農業の振興、地域ブランド「IGAGREEN」のPR
- ◎公契約条例の早期制定

☆暮らしと地域を支える

- ◎持続可能な地域づくりの組織構築、学生の地域づくりへの参画推進
- ◎交付金を活用した物価高対策（生活者支援、事業者支援）
- ◎老朽水道管の更新と水道事業の持続可能な経営のあり方を検討
- ◎今後の公共下水道のあり方について再検討

☆シティプロモーションを推進する

- ◎市民参画型のシティプロモーションをさらに発展（アウトプロモーションに注力）
- ◎関係人口の創出（市外からのお助け制度、お試し宿泊支援、移住者交流会）
- ◎若者のまちづくりへの参画推進（東京藝大、三重大等との連携）
- ◎企業の人手不足、空き家対策、移住対策を絡めた戦略的な取り組み
- ◎鉄道事業者等とのコラボ（包括連携協定締結など）

☆環境を守る取組を推進する

- ◎一般廃棄物（家庭ごみ）を処理するエネルギーセンターの設置
- ◎ごみの減量化・資源化等、ごみの排出量削減に向けた取り組み促進
- ◎オオサンショウウオの生息環境の保全と活用

平和と人権を大切にする

- ◎平和学習の継続推進（ピース・メッセンジャー等）
- ◎女性が働きやすいまちを推進
- ◎多文化共生センターを活用した共生社会の推進
- ◎部落差別撤廃条例の改正

☆防災と危機管理を充実する

- ◎避難行動要支援者個別計画の充実、福祉避難所の訓練の充実
- ◎避難所における備蓄品の充実
- ◎熊対策

☆文化振興・生涯スポーツを進める

- ◎名張市文化振興条例の制定
- ◎豊臣兄弟ゆかりの地キャンペーン
- ◎伊賀地域としての文化発信強化
- ◎スポーツツーリズムの推進

☆行財政改革を進める

- ◎行財政改革を推し進め、安定した財政基盤を構築する
- ◎公民連携の積極的な取り組み

- ◎外部人材の活用による戦略的な取り組み
- ◎ふるさと納税10億円超えをめざす。外部人材の登用も含めた体制の強化、商品開発の強化で、稼げるまちに。
- ◎企業版ふるさと納税の拡大
- ◎老朽化が進む公共施設の更新・統廃合も含めた個別施設計画の策定（教育施設含む）
- ◎広聴広報活動の充実
- ◎定住自立圏を中心とした広域連携の推進（定住自立圏共生ビジョンの改定）
- ◎職員のやりがいにつながる研修やリスクリングの充実
- ◎職員の働き方改革、DXの推進、市を挙げてのハラスメントの撲滅運動